

レジメン名称(サイラムザ(d1,15)+アブラキサン(d1,8,15) q4w) 胃癌

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 4 週間 Day 1.....8.....15.....2229
サイラムザ	8 mg/kg	↓ ↓
アブラキサン	100 mg/m ²	↓ ↓ ↓

レジメンオーダー以外に必要な処方 Day1, 15 : レスタミン 5錠 1× 化学療法時 1 回分

注意事項

アルブミン含有のため、血液製剤同意書を取得して下さい。

アブラキサンは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

アブラキサン懸濁液はすみやかに使用し、すぐに使用しない場合は冷蔵庫(2~8℃)で遮光保存し、8時間以内に使用すること。

サイラムザ初回および8週以上あいた時:心電図モニター、BP、HR測定、全身状態の観察が必要(詳細は投与方法の項を参照)

サイラムザ:室温保存では調製4時間以内に使用、すぐに使用しない場合は冷蔵庫で保存すること

サイラムザには専用フィルター付き輸液セット使用、アブラキサンにはフィルターセットは使用しないこと。

投与方法: 1 日目、15 日目	
1	生食 100mL フィルター付きラインは使用しないこと メインルートをプライミングし、止める
2	レスタミン(10mg) 5錠 内服
3	デキサート(1.65mg/0.5mL) 4A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、 生食 30 mL 5分以上かけて、下の側管から投与
4	グラニセトロン(3mg/100mL) 1V 30分かけて点滴、下の側管から投与
5	生食 50mL 15分かけて 下の側管から投与
6	フィルター付き輸液セット使用 サイラムザ _____ mg、生食、全量 250 mL 60分かけて、下の側管から投与 初回および8週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5分後、15分後、30分後、終了時: BP、HR測定 投与前、5分後、15分後、30分後、終了時: 全身状態の確認(呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気)
7	アブラキサン _____ mg、生食(100 mLのボトル) 30分かけて、上の側管から投与(液量は投与量により変わるため、ラベルを確認)
8	1の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄

投与方法: 8 日目	
1	生食 100mL フィルター付きラインは使用しないこと メインルートをプライミングし、止める
2	デキサート(1.65mg/0.5mL) 4A、生食 50mL 15分かけて点滴、下の側管から投与
3	アブラキサン _____ mg、生食(100 mLのボトル) 30分かけて、上の側管から投与(液量は投与量により変わるため、ラベルを確認)
4	1の生食を使用し、ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄